資料２

令和８年度第２回（令和８年１１月４日）ＤＸ推進本部提案

□審議　☑報告　□その他

担当部・課：市民生活部環境未来推進課〔内線３３７３〕

１　件名

ＡＩを活用したごみ分別案内サービス「石巻ごみナビ」の運用開始について

２　施策等を必要とする背景及び目的（理由）

【背景】

これまで、ごみの分け方・出し方については、家庭ごみ収集カレンダーやごみ減量ガイドブックなど紙面を中心に周知を行ってきたところであるが、デジタル技術の活用による市民の利便性向上及び庁内の業務効率化を図るとともに、ごみの減量化・再資源化を推進するもの。

【目的】

令和８年１０月のプラスチック分別収集開始に伴い、市民がスマートフォンなどによりごみ分別区分等を容易に把握できるようにすることで、適正排出によるリサイクルを推進し、燃やせるごみ等の減量化を図るもの。

３　根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性

【根拠法令：☑有　□無】

石巻市廃棄物の減量化及び資源化並びに適正処理等に関する条例（平成１７年条例第１８０号）

【総合計画の位置付け：☑有　□無】

第２章　都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち

　第２節　持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進

【個別計画の位置付け：☑有　□無】

石巻市ＤＸ推進計画

４ 取組事項 Ａ 市民サービスの利便性の向上実現のための取組事項

石巻市環境基本計画

　基本目標３　循環型社会の構築

石巻市一般廃棄物処理基本計画

　第５節　減量化・資源化重点施策

４　提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）

令和８年４月～　プラスチック分別収集に関する住民説明会や出前講座で導入予定の旨を周知

令和８年７月　業務委託契約締結～導入業務

令和８年８月　導入業務完了

令和８年９月　運用開始、市長定例記者会見及び市ホームページ等で周知

　〃　　全戸配布する冊子「資源とごみの分け方・出し方」の表紙で周知

令和８年１０月　市公式ＬＩＮＥの友だちに「石巻ごみナビ」を案内

５　主な内容

「石巻ごみナビ」は、ＡＩを活用し、文字入力や写真の送信により、本市におけるごみの分別などを案内するＬＩＮＥ上のサービス。単純なテキストマッチングによる検索だけではなく、略語やあいまいな検索にも対応するＡＩを活用した類語検索（「自転車」ではなく「チャリ」でも粗大ごみと回答等）ができる。また、外国語７言語（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、ミャンマー語）にも対応しているため、留学生や技能実習生など外国人住民の方でも利用できるほか、各地区のごみ収集カレンダーの表示や、設定した地区のごみ収集日をＬＩＮＥで、「今日（明日）は○○ごみの日」とお知らせする機能などがある。

６　実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

ＡＩによる自動識別や多言語対応により、２４時間３６５日いつでも分別方法を案内できる環境を整備し、行政サービスの拡充及び市民の利便性向上を図るとともに、ごみの減量化や資源化の推進、環境美化に対する意識の向上につながるもの。

【市財政への負担】

導入費：４９５，０００円

運用管理費（令和８年度・９月～３月の７か月分）：４００，４００円

（１か月当たり５７，２００円）

合計８９５，４００円

（財源）みやぎ環境交付金：７８１，０００円（予定）

７　他の自治体の政策との比較検討

県内におけるＡＩを活用したごみ分別案内は、当市が初めて運用開始する。

以下、県内他自治体のごみ分別案内等

・仙台市：市公式のポータルアプリ内にごみ機能あり、ごみカレンダーの表示や出し方等を確認

・東松島市、大崎市、多賀城市など：市公式ＬＩＮＥ内にごみ機能あり、ごみカレンダーの表示や出し方等を確認

・富谷市、名取市など：ごみ分別アプリ「さんあ～る」で、ごみカレンダーの表示や出し方等を確認

全国の「ごみナビ」導入自治体（令和８年９月１日時点）：調布市、能代市、福生市、羽村市、加賀市、江東区、苫小牧市、東大和市、東根市、鎌ケ谷市、焼津市、三鷹市、文京区、あきる野市、東広島市、　琴浦町、臼杵市（今後、墨田区、高松市などで導入予定）

８　今後の予定及び施行予定年月日

出前講座などを通じて、継続して周知を図る。また、問い合わせの多い品名、利用者の属性、分別案内の評価等のフィードバックを基に、分別品目の追加やサービス改善を随時実施していく。

９　その他